

令和七年度 入学式 式辞

四月となり、春の暖かさを感じられる季節となりました。本日、晴れて入学式を迎えられました第八十一期生 八十八名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

そして、中学校の制服に身を包み、成長した我が子の姿を、まのあたりにされた保護者の皆様方におかれましては感慨もひとしおのことと思います。本日は誠におめでとうございます。

さらに、新入生の前途を祝し、これから始まる中学校生活を応援していただくため、ご来賓の皆様には早朝よりご臨席を賜り、誠にありがとうございます。皆様方には、平素より昭和中学校の教育活動の推進に、ご理解とご協力をいただいておりますこと、高いところからではございますが、厚くお礼申しあげます。

とりわけ、学校運営に関わりましては、PTA会長様をはじめ、役員・実行委員会の皆様方には、たいへんお世話になっております。今後とも、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

さて、新入生の皆さんは、今日から七十八年の歴史と伝統のある昭和中学校の一員となります。中学生としての自覚と誇りを持って、これからの三年間を過ごしてほしいと思っています。

入学にあたり、勉強や部活動など、不安に思っていることもたくさんあると思いますが、今日の式に参加してくれている新2年生、そして生徒会役員をはじめ、皆さんの先輩が、優しく出迎えてくれることと思いますので安心して中学校に通ってください。

昭和中学校には、新入生の皆さん一人ひとりが持つ「秘められた力」を、発揮できる場として、6つの運動部と、4つの文化部があります。部活動の良さは、違う学年のなかまと、スポーツや文化的な活動を通じてつながれるということにあります。また、技能や能力を伸ばすだけでなく、活動を通して「礼儀」や「マナー」が学べることなど、将来の皆さんにとって素晴らしい財産になると思います。部活動に限らず、何か一生懸命に打ち込めるものがあることで、他にも多くのことを学ぶことができるということです。ぜひとも、中学生のこの時代に何か打ち込めるものを見つけて、人間としてさらに大きく成長してほしいと願っています。

新入生の皆さんには、「一生懸命にやることはすばらしく」「一生懸命やる姿はカッコよく」「一生懸命にやるのが楽しい」という経験を中学校でたくさんしてもらいたいと思っています。人には得意・不得意があるので、たとえ、うまくいなくても一生懸命に頑張っている人への励ましの声や優しい応援が飛び交うような集団になってくれることを心より願っています。

私は、新入生の皆さんと同じで、今年度より昭和中学校の校長として着任しました。校長着任にあたり、「めざしたい学校」として、3つの目標を掲げました。

一つ目は、「みんなが笑顔で登校できる優しさ溢れる学校」

二つ目は、「教職員も生徒も何事にも一致団結できる学校」

三つ目は、「地域や保護者の皆さんから愛される学校」

そのような学校をつくっていきたいと思っています。それらの目標の達成に向けては、常に気持ちの良い挨拶が交わせられるなど、当たり前のことが、当たり前に行えることが、とても大切なことだと考えています。昨日、入学式の準備で登校していた皆さんの先輩が、見ず知らずの私に大きな声で「こんにちは」と、気持ちの良い挨拶をしてくれました。これからの中学校生活の中で、皆さんの先輩が、良い見本をたくさん示してくれると思います。そして、昭和中学校で過ごす三年間で、『なかまを大切にする優しい心を持った人』に育ってもらいたいと、心より願っています。

結びになりましたが、今日入学された皆さん、保護者の皆様。昭和中学校の教職員・在校生一同、心よりご入学を歓迎いたします。そして、保護者の皆様・地域の方々にご協力をいただき、新入生の中学校生活がより素晴らしいものとなるよう、また、地域から愛される学校になりますよう、教職員一同、努力を惜しまないことをお約束して、式辞とさせていただきます。

令和七年四月三日

大阪市立昭和中学校 校長 山咲進一